

統計スポット情報

NO. 161

21.12.2

福井県総合政策部政策統計課

～ 統計で見る福井のいま、むかし ～



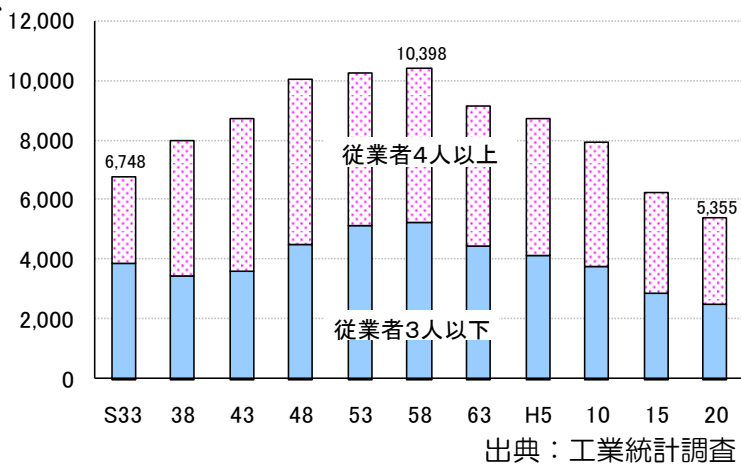
先日公表された平成20年工業統計調査結果（速報）の結果を見ると、県内の製造業を主業とする事業所数は5,355事業所で、前回の全数調査（平成17年）から10.4%減少しており、過去、最多であった10,484事業所（昭和57年）と比較すると、約半数になっています。

さて、この工業統計調査は、明治42年（1909年）の調査開始から今年でちょうど100年を迎えました。我が国の経済発展を支えてきた製造業の歴史を、1世紀にわたって記録してきた訳です。

この100年には及びませんが、古くから実施されてきた統計調査は、他にもたくさんあります。

そこで、今回はこうした統計データを使って、半世紀前、四半世紀前の本県の状況を振り返ってみましょう。

（事業所） 製造業を主業とする事業所数の推移（全事業所）



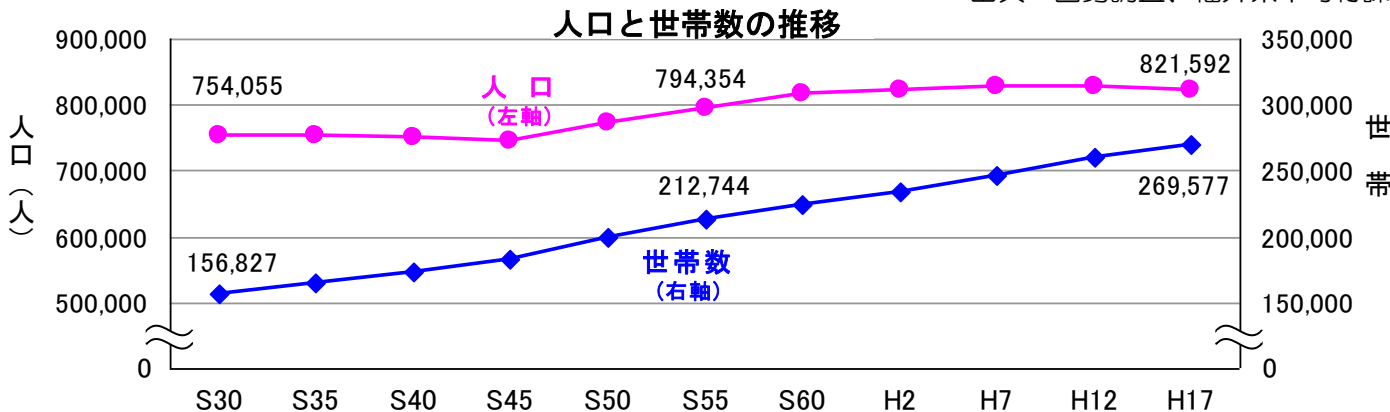
※ 調査ごとに実施年が異なるため、それぞれ50年前、25年前に最も近い調査結果を採用しています。

☆人口、世帯☆

まず、県の人口や世帯数について見てみましょう。本県は、1世帯当たりの世帯員数が全国的にみて上位（平成17年で全国2位）にあります。それでも、この50年間で4割近く減少しています。また、出生率は50年前と比べると半分以下に減少しています。

	50年前 (S30)	25年前 (S55)	現在 (H17)
人口	754,055人	794,354人	821,592人
世帯数	156,827世帯	212,744世帯	269,577世帯
一般世帯の平均人員	4.8人	3.7人	3.0人
粗出生率（人口千人対）	19.7	13.6	8.8
【参考】市町村数	54（7市18町29村） （昭和30年10月1日現在）	35（7市22町6村） （昭和55年10月1日現在）	27（8市15町4村） （平成17年10月1日現在） 17（9市8町） （平成21年10月1日現在）

出典：国勢調査、福井県市町村課



☆進学率☆

進学率を見ると、この50年間で、中学校卒業者の高等学校等進学率は約2.3倍に、高等学校卒業者の大学等進学率は約3.0倍となっています。

		50年前 (S33)	25年前 (S58)	現在 (H20)
中学校卒業者	高等学校等進学率	43.1%	93.2%	98.5%
	就職率	49.0%	5.5%	0.6%
高等学校卒業者	大学等進学率	19.2%	31.6%	56.8%
	就職率	57.2%	48.7%	21.1%

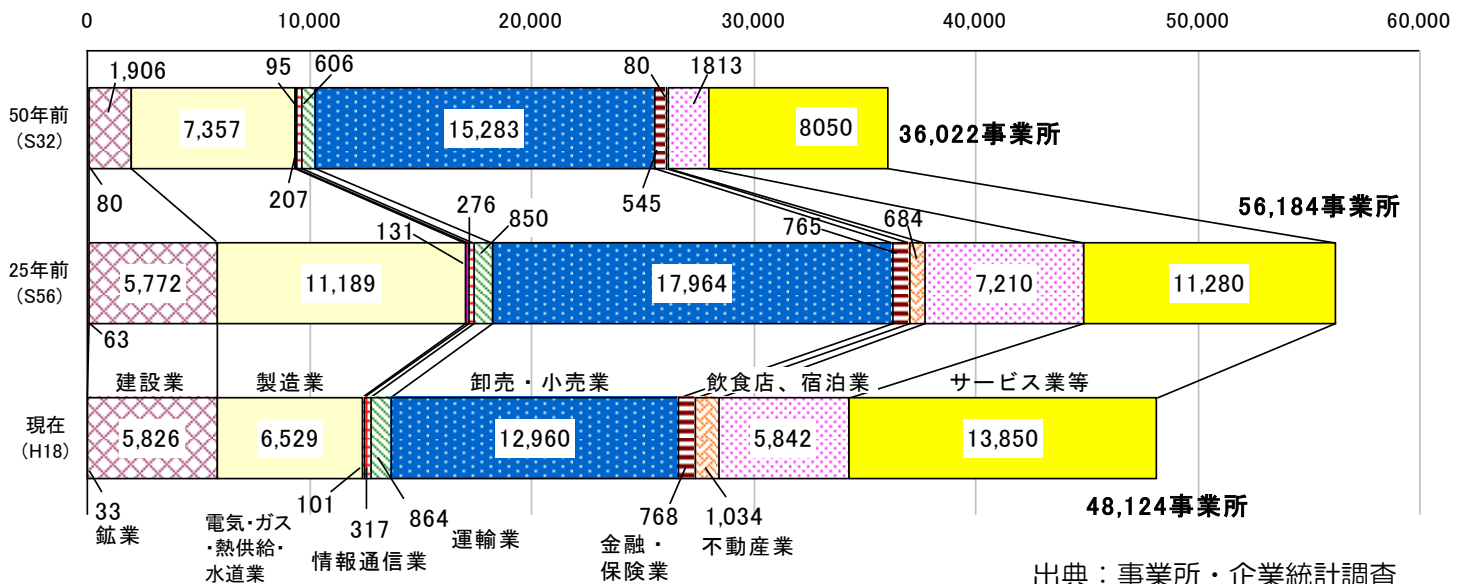
出典：学校基本調査

☆事業所・企業数☆

50年前は、卸売・小売業の割合が最大で、42.4%を占めていました。

25年前は、やはり卸売・小売業が最大ですが、その割合は32.0%まで低下しており、50年前と比べると、不動産業（8.6倍）、飲食店、宿泊業（4.0倍）、建設業（3.0倍）などが大きく増加しました。

現在は、サービス業等の割合が28.8%で最大となっており、25年前と比べると、製造業（△41.6%）、卸売・小売業（△27.9%）などが大きく減少しています。



出典：事業所・企業統計調査

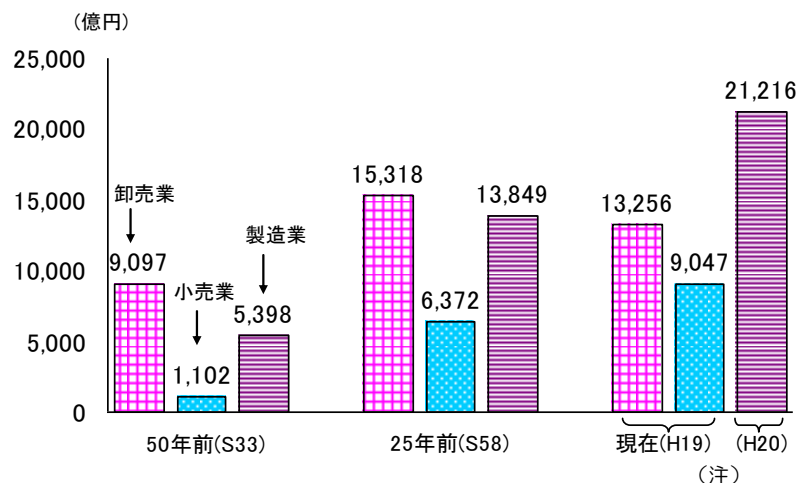
☆卸売業、小売業の年間販売額、製造業の製造品出荷額☆

卸売業、小売業、製造業について詳しく見てみましょう。

小売業の年間販売額、製造業の製造品出荷額は、過去50年間に大きく増加していますが、卸売業の年間販売額は、25年前から現在にかけて減少しています。

ただし、平成19年の1事業所当たりの年間販売額は、小売業の0.96億円に対し、卸売業は5.02億円となっています。

なお、平成20年の製造業の1事業所当たりの製造品出荷額は3.96億円となっています。



(注) 商業統計 (卸売・小売業) は平成19年調査、工業統計 (製造業) は平成20年調査が直近の調査です。

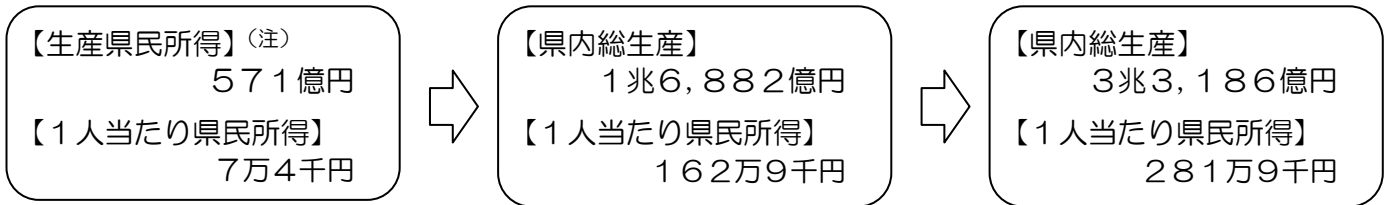
出典：商業統計調査・工業統計調査

☆県内総生産・県民所得☆

50年前 (S31)

25年前 (S56)

現在 (H18)



出典：福井県県民所得推計報告・福井県県民経済計算

(注) 昭和31年当時は「県内総生産」は算出されていませんでした。「生産県民所得」はおおむね現在の「県内要素所得」に相当し、「県内総生産」より2～3割低くなります。

☆勤労者の給与額☆

労働者1人当たりの月間平均給与額を見てみましょう。

調査産業計でみると、現在の給与額は50年前と比べ約2.1倍、25年前からは約1.2倍となっています。

なお、卸売・小売業の25年前から現在にかけての伸びが小さいのは、他業種に比べてパートの割合が大きいことが影響しているようです。

常用労働者1人平均現金給与額 (単位：円)

	50年前 (S33)	25年前 (S58)	現在 (H20)
建設業	13,066	274,003	335,663
製造業	11,533	220,393	317,080
卸売・小売業	13,634	217,600	217,836
調査産業計	14,151	255,980	303,126

出典：毎月勤労統計調査

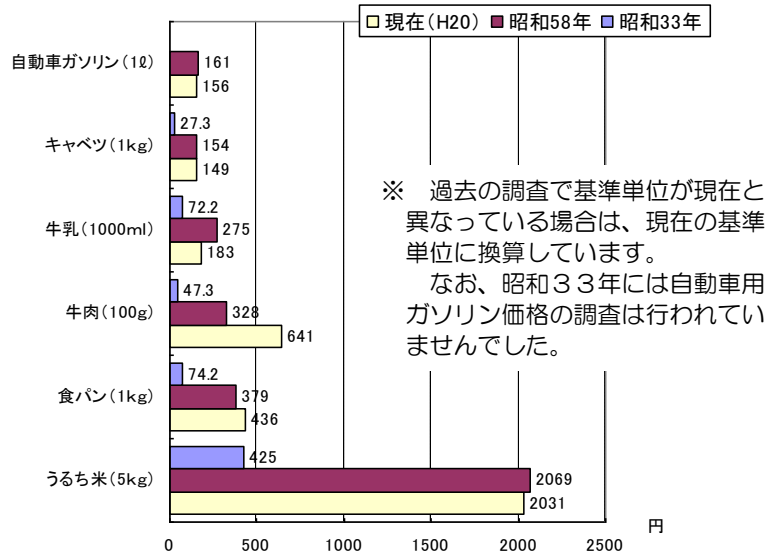
☆物価☆

物価を各品目別で見てみましょう。

50年前の価格は、品目によるばらつきはありますが、現在に比べると1/2から1/10の水準にあったようです。

25年前になると、現在と同水準の価格となっている品目が多くなっていますが、牛肉は25年前の約2倍に値上がりし、逆に牛乳は約2/3に値下がりしているのが目につきます。

出典：小売物価統計調査



ところで・・・

50年前、25年前、全国や福井県ではどんな出来事が起こっていたのでしょうか。

50年前

- 【海外】世界初の人工衛星打ち上げ (S32)
キューバ革命 (S34)
- 【国内】東海村に国内初の原子炉完成 (S32)
東京タワー完成 (S33)
天皇皇后両陛下、御成婚 (S34)
伊勢湾台風 (S34)
- 【県内】芦原温泉大火 (S31)・復興 (S32)
国鉄、田村～敦賀間電化 (S32)
NHK福井放送局開局 (S34)

25年前

- 【海外】フォークランド紛争 (S57)
大韓航空機撃墜事件 (S58)
- 【国内】上越新幹線(大宮～新潟間)開業 (S57)
ファミリーコンピュータ発売 (S58)
東京ディズニーランド開園 (S58)
グリコ・森永事件 (S59)
福澤諭吉の新1万円札発行 (S59)
- 【県内】五六豪雪 (S56)
人口80万人突破 (S57)

統計グラフ福井県コンクール入賞作品の紹介

県および福井県統計協会では、統計に関する知識を広く普及し、統計の表現技術の向上を図る一環として、毎年、統計グラフ福井県コンクールを開催しています。

今年は県内の206名の方から157点の応募があり、審査の結果、各部門で金・銀・銅賞を1点、佳作を3点決定しました。また、金・銀・銅賞作品は全国コンクールに出品され、福井県の作品からは3点が佳作に入賞されました。

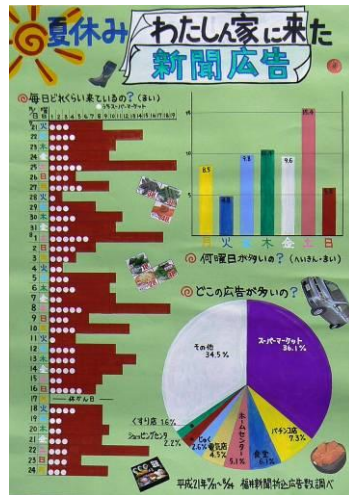
それでは、福井県コンクールの各部門で金賞を受賞した作品を御紹介しましょう。

第1部（小学校1～2年生）金賞

第2部（小学校3～4年生）金賞

第3部（小学校5～6年生）金賞

☆全国コンクール 佳作☆



越前市吉野小学校5年
松永 京子 さん

あわら市細呂木小学校2年
渡邊 美奈望 さん

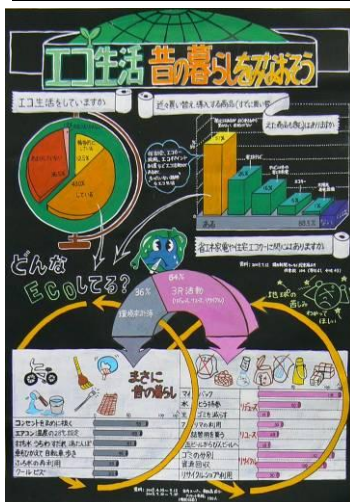
越前市味真野小学校3年
伊吹 京夏 さん

第4部（中学校）金賞

パソコン統計グラフの部 金賞

☆全国コンクール 佳作☆

☆全国コンクール 佳作☆



越前市武生第一中学校2年
曾我 凌平 さん

越前市武生第一中学校1年
竹谷 拓良 さん

身近なものから社会的問題まで、いろいろなテーマで統計グラフを作ることができます。小学生や中学生はもちろん、高校生や大学生、一般の方も作品を募集していますので、来年の統計グラフコンクールに出品してみてもいいかもしれません。